

2025年8月4日

報道関係者各位

「未来の宇宙服は”和装!?”」岐阜と京都で伝統とテクノロジーが出会う。

岐阜医療科学大学 田中教授が協力する宇宙服プロジェクト。8/7に共同記者会見を実施。

西陣織を纏う次世代型宇宙服開発プロジェクト始動

岐阜医療科学大学 薬学部薬学科 田中邦彦教授が協力を務める、次世代宇宙服の開発プロジェクトが本格始動します。本プロジェクトは、京都大学大学院 総合生存学館 SIC 有人宇宙学研究センターを中心に、岐阜医療科学大学、株式会社アマテラス、タイヨウネクタイ株式会社などが参画し、伝統工芸である西陣織と宇宙先端技術の融合を目指す世界的にもユニークな取り組みです。

田中教授は、JAXAにも紹介された高与圧・高可動性宇宙服「Knight suits」の研究者として知られ、宇宙服研究において国内外に有数の知見を有しています。今回の開発プロジェクトでは、その専門性を活かし、構造設計や素材特性に関する知見・技術協力をを行っています。

この度、プロジェクト始動にあたり、報道関係者向けの記者会見を下記の通り開催いたします。

■記者会見 概要

- ・日時：2025年8月7日（木）13:00～
- ・場所：京都大学大学院 総合生存学館（201号室および大会議室）
- ・報道解禁：同日 15:00～

※記者会見はオンラインでも実施します。配信 URL は下記です。

<https://kyoto-u-edu.zoom.us/j/81378728162?pwd=eDKEotVx5EAf9jb7qU4sdKGtYubUFL.1>



記者会見 QR コード→

■宇宙に“意匠美”を届けるプロジェクト

従来の宇宙服は、極限環境での生命維持を目的とする機能性に特化してきました。しかし、宇宙旅行や観光の時代が到来する今、宇宙服には「個性」や「文化性」といった新たな価値が求められています。

本プロジェクトでは、1000年以上の歴史を持つ西陣織を外装に採用。意匠性に優れるだけでなく、種々の繊維を織り込むことで耐衝撃機能を備え、耐熱・耐摩耗性も追求。機能美と伝統美を兼ね備えた「未来の民族衣装」を目指しています。

■EXPO2025 大阪・関西万博での展示

西陣織を纏ったコンセプト宇宙服「VESTRA」と「Knight suits」が、2025年の大阪・関西万博で一般公開されます。

- ・展示期間：2025年8月10日～16日
- ・会場：大阪ヘルスケアパビリオン・デモキッキンエリア
- ・追加展示：8月17日 関西パビリオン京都ブース

日本の伝統美と宇宙先端技術が融合した革新的宇宙服を、来場者が実際に目にする貴重な機会となります

■将来への展望

本プロジェクトは今後、宇宙研究機関との連携や、EXPOなど世界的イベントでの文化発信、科学館や教育施設での展示活用など、幅広い展開が期待されています。

こうした広がりの中で、田中邦彦教授による宇宙服研究も、さらなる進化が期待されています。

「Knight suits」は、人体に優しく、かつ高機能な次世代宇宙服として注目されており、本プロジェクトで得られた知見や技術も、田中教授の研究にフィードバックされていきます。今後は、医療・生体工学との融合や、極限環境下における人間活動支援技術の開発など、岐阜から世界へ向けた先端的な研究がさらに進展していく予定です。

■別添資料

別添資料1 京都大学からのプレスリリース

【この件に関するお問い合わせ先】

岐阜医療科学大学 企画課 今井・上野

〒509-0293 岐阜県可児市虹ヶ丘 4-3-3

TEL：0574-65-6555（平日 9:00～17:00）

E-mail:gumsbd@u-gifu-ms.ac.jp

【プロジェクトイメージ】



【Knight Suits 作成中】

